寄贈品コーナー展示

＃竹のある暮らし

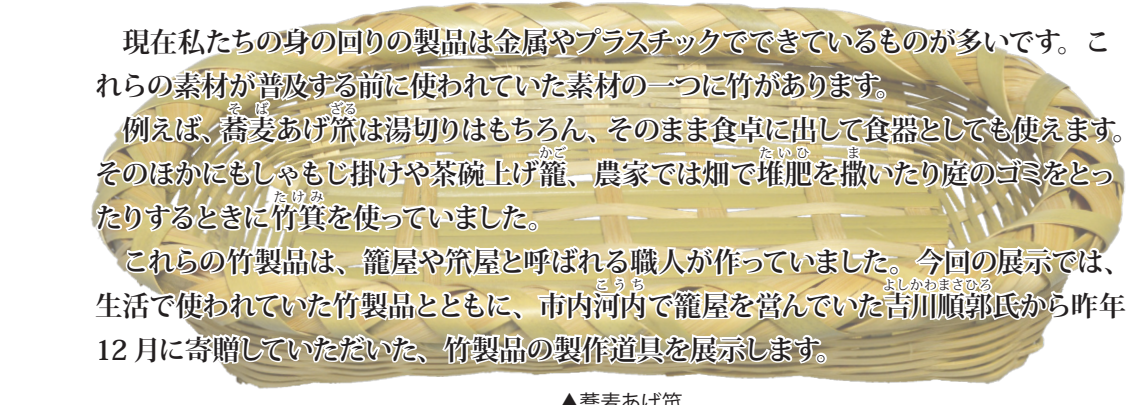
２０２３年
3月2日（木）
～4月2日（日）

◀しゃもじ掛け

現在私たちの身の回りの製品は金属やプラスチックでできているものが多いです。これらの素材が普及する前に使われていた素材の一つに竹があります。

例えば、蕎麦(そば)あげ笊(ざる)は湯切りはもちろん、そのまま食卓に出して食器としても使えます。そのほかにもしゃもじ掛けや茶碗上げ籠(かご)、農家では畑で堆肥(たいひ)を撒(ま)いたり庭のゴミをとったりするときに竹箕(たけみ)を使っていました。

これらの竹製品は、籠屋や笊屋と呼ばれる職人が作っていました。今回の展示では、生活で使われていた竹製品とともに、市内河内(こうち)で籠屋を営んでいた吉川順郭(よしかわまさひろ)氏から昨年12月に寄贈していただいた、竹製品の製作道具を展示します。



▲蕎麦あげ笊

▲竹箕を作る吉川氏